学校だより

令和７年４月２５日（金）
新潟市立曽野木中学校

やわらかな春風に心華やぐ季節となりました。４月７日（月）には、入学式を行い９１名の新入生は喜びと希望を胸に中学生としての新しい門出の第一歩を踏み出しました。緊張した生徒たちも新しい環境に慣れて勉強に部活動に生き生きと活動しています。いよいよ曽野木中学校の令和７年度がスタートしました。

今年度も保護者・地域の皆さんとともに子どもたちのためにより良い教育を行ってまいりますので、引き続き曽野木中学校の教育にご理解とご協力をお願いいたします。

「入学式歓迎の言葉」

新潟市立曽野木中学校長　橋本　一幸

〈前略〉

曽野木中学校は「自立貢献」の教育理念の下、「自主・協同・自律」を教育目標に掲げ、３年間を通じて、全ての生徒が自分の良さを十分に伸ばし、未来を担い、切り開いていく確かな力を培ってほしい、という願いを込めて、日々の教育活動を進めています。曽野木中学校の生徒は現状に満足せず、仲間との「かかわり・つながり」を大切に、様々なことに「挑戦」し、慣例や前例を打ち破って、常に、より良いものを求めて学校生活を送っています。困難や不安があっても、簡単に諦めるのではなく、仲間と協力し合って、力強く課題を乗り越えようと歩みを続ける学校です。今日から皆さんは曽野木中学校の一員として、新たな日々を歩み始めます。そこで、皆さんに期待することを２つお伝えします。

１つ目は、「挑戦」することです。皆さんがこれから体験することの多くは、初めてのことばかりです。新しい学びや活動に挑戦する中で、うまくいかないこともあるかもしれません。しかし、その失敗こそが成長の糧となります。失敗を恐れずに挑戦し、粘り強く乗り越えていく姿勢こそが、皆さんに求められるものです。「挑戦すること」を恐れず、次のステップへ進んでいくことで、皆さんは大きく成長することができるのです。重要なのは、失敗を通じて何を学び、どう次に生かしていくかを考えることです。

２つ目は、「かかわり・つながり」を大切にしてほしいということです。充実した学校生活は、仲間との協力や支え合うことで成り立ちます。皆さん一人一人が、互いに認め合い、助け合いながら過ごすことで、学校全体がより過ごしやすい場になります。自分だけでなく、周りの仲間と互いに成長を支え合い、高め合っていくことこそが、皆さん自身の成長にもつながります。

挑戦すること、周囲の人とのかかわり・つながりを大切にすることの２つを忘れずに、３年間を過ごし、大きく成長していってください。きっと、卒業を迎えるときには、これからの様々な経験が「自信を持って、自分の将来を選択できる力」、「自己決定する力」となって身に付いていることでしょう。

〈後略〉

「歓迎の言葉」

生徒会長　五十嵐　未空

〈前略〉

新しい制服を身にまとい、中学生としての第一歩を踏み出した皆さんは、今どんな気持ちでしょうか。きっとこれから始まる新しい学校生活に期待を膨らませている一方で不安や緊張でいっぱいなことでしょう。そんなみなさんに、これからの中学校生活で大切にしてほしいことをいくつかお話ししようと思います。

まず一つ目は、「挨拶」です。なぜ挨拶が大切なのか？中には挨拶はしなければならない決まりだから。そう教えられたから。と考えている人もいるかも知れません。しかし、私は挨拶するという行動の先にある「効果」が大切だと思います。挨拶にはお互いをポジティブな気持ちにさせる効果があります。私は朝学校に来たら必ず友達に挨拶をします。そうすることで自分も相手も「今日も１日頑張ろう」という活力になります。また、挨拶は会話のきっかけにもなります。実際に私も皆さんと同じ入学式の日、初めて会った友達に挨拶をしたらそこから会話が弾み、仲良くなった経験があります。挨拶一つでハッピーを共有したり、仲間の輪を広げたりすることができます。まさに、「心と心を繋ぐ架け橋」です。初対面の人に挨拶をするのは少し勇気がいりますが、みなさんの周りにいる人はこれから３年間を共に過ごす仲間です。まずは笑顔で一言、挨拶から始めてみましょう。

二つ目は、「挑戦」です。「挑戦」と聞くと失敗したら嫌だな…などとマイナスなイメージがあるかも知れません。私も初めは失敗を恐れていました。ですが私はこの二年間勇気を出して、たくさんの挑戦をしてきました。挑戦していくうちに失敗に対する考え方が変わりました。

挑戦することで失敗し、その失敗から改善策を見出し、成長する。そして成功につながる。挑戦と成功の道のりの途中には必ず失敗と成長があるということです。挑戦して失敗することは悪いことではありません。大切にしてほしいのは失敗した後です。「どうしてうまくいかなかったのだろう」「次はこうしてみよう」と振り返って改善していくことが成長への鍵となります。たくさん失敗して、成功につながると、大きな達成感を得ることができ、次の挑戦につながります。皆さんもこれから始まる中学校生活の中で小さなことから挑戦してみてください。きっと挑戦してよかったと思えるはずです。

〈後略〉

「誓いの言葉」　　新入生代表　塚田　泰介

私たち新入生９１名は曽野木中学校の１年生として入学式を迎えることができました。本日は、私たちのためにこのような素晴らしい入学式を開いていただき大変感謝しています。

今日から曽野木中学校の制服を着て、新たな生活への第一歩を踏み出します。小学校で学び付けてきた力を生かし、初めてのことや難しいことにも新しい仲間とともに挑戦していきます。これからの学校生活が楽しみですが、友だちと仲良くできるだろうか、授業についていけるだろうかなど、新しい環境に対する不安もあります。時には辛いこともあるかもしれません。その時には、先生方、先輩方の皆さんにアドバイスをいただき、仲間と協力し、助け合いながら乗り越えていきたいと思います。先生方、先輩方、これからの三年間、どうぞよろしくお願いします。

最後に、私たちは「自主、協同、自律」という教育目標に向かって精一杯努力するとともに、曽野木中学校の生徒としての誇りをもって中学校生活を送っていくことを誓います。

生徒会入会式

「お礼の言葉」　　新入生代表　藤巻　龍生

２・３年生の皆さん、今日は僕たち１年生のために生徒会の説明など様々なことを教えてくださりありがとうございました。皆さんが中学校に関するいろいろなことを教えてくださったおかげで、中学校のことがよく分かり、生徒会や委員会など、みんなで協力して積極的に取り組もうと思いました。

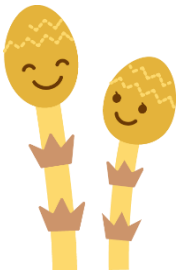
中学校では、小学校で行われなかった部活動や委員会活動、学校行事などたくさんあることを知り、これから始まる学校生活がとても楽しみです。また、一つ一つを積極的に取り組んでいくことで、中学校生活をより充実させることができると思いました。

中学校生活で、僕が一番頑張りたいと思うことは勉強です。授業の内容が小学校より深くなっていき、授業のスピードも速くなるので予習や復習をちゃんとしようと思います。最後に、今日は、私たちのために生徒会入会式を開いていただき、本当にありがとうございました。また、不安やわからないことがあり、時には失敗したりご心配をおかけしたりすることもあると思います。そんな時には先生方や先輩方のお力をおかりすることがあるかもしれませんが、どうぞよろしくお願いします。

生徒会入会式　：　新入生に向けてのエール　　学校生活の説明　　お礼の言葉

【　転出職員　】　～　お世話になりました　～

教　　諭	長井　　昭	新潟市立内野中学校へ
教　　諭	木村　　康弘	新潟市立潟東中学校へ
教　　諭	高橋　美和子	退職
教　　諭	小島　かおり	新潟市立坂井輪中学校へ（主幹教諭昇任）
教　　諭	泉　　陽	新潟市立新潟柳都中学校へ
講　　師	田村　　雅子	退職
栄 養 士	大花　恵美子	新潟市立沼垂小学校へ
調 理 員	髙山　　広美	新津東部学校給食センターへ
特別支援教育支援員	遠藤　　妙子	退職

【　転入職員　】　～　よろしくお願いします　～

教　　諭	藤川　　栄一	新潟市立小針中学校より
教　　諭	内藤　　奈々	新潟市立坂井輪中学校より
教　　諭	長谷川美沙登	新潟市立藤見中学校より
教　　諭	山田　　真澄	新採用
栄養教諭	安達　妃紗奈	新採用
特別支援教育支援員	鍋谷　　成江	新潟市立関屋中学校より
特別支援教育支援員	小林　奈保子	新規採用
給食調理員	鈴木　　克子	新潟市立浜浦小学校より